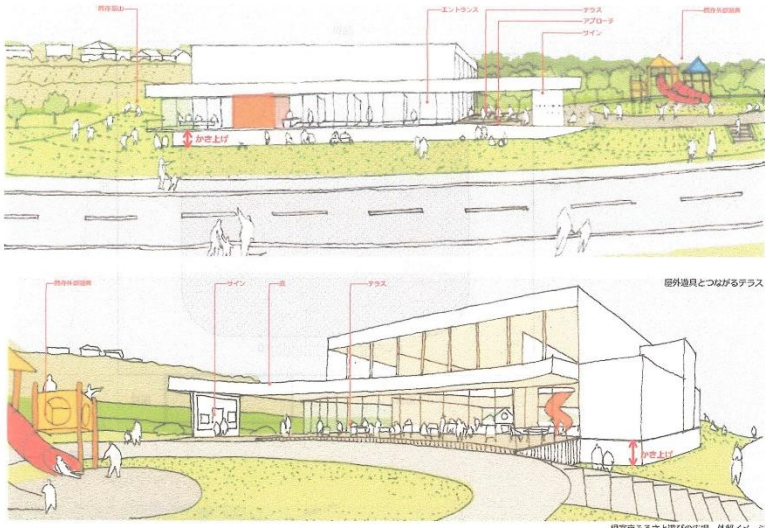


# 子ども向け屋内遊戯施設 「(仮称)ふるさと遊びの広場」 基本計画(案)が示される



根室市ふるさと遊びの広場 外部イメージ  
2019.08.28

## 施設整備の基本方針

- (1) 誰もが使える空間の創出
- (2) 安全な空間の確保
- (3) 自由な遊びの創出
- (4) 気軽に利用できる施設運営

基本計画案では上記の基本方針のもと、乳幼児も安全に利用できるよう自然な形で空間を隔てたり、親子が一緒に遊べる場所等が構想されています。また利用者が気軽に安全に利用できるよう、管理者を常駐することや、利用料を無料にするなどが示されています。

8月30日、根室市議会の総務常任委員会(壺田委員長と文教厚生常任委員会(鈴木委員長)は根室市より、子ども向け屋内遊戯施設「(仮称)ふるさと遊びの広場」の基本計画案について説明を受けました。基本計画案では「(仮称)ふるさと遊びの広場」は、市総合運動公園にある屋外遊具の南側に建設する予定としています。今年度中に基本設計まで進め、来年度以降に測量や実施設計を予定しています。概算の事業費は約4億5610万円です。

建設場所では明治公園も候補でしたが、樹木伐採や敷地の造成が必要なこと、また駐車場台数が不足する懸念があるため、基本計画では運動公園を建設候補地としています。一方で、運動公園は津波など水害の浸水区域となつているため、建物を浸水予測にもとづいて、標高が7.5ほどになるように高上げて建設し、床上浸水を防ぐ計画となっております。

今後はパブリックコメントを経て、引き続き教育関係者や保護者らが参画する「検討委員会」のなかでも議論が進められていくことになっていくそうです。

※ ※ ※ ※ ※

建設候補地が運動公園という点で、改めて津波などの災害時にどのような形で避難することが有効か、公園内施設全体の中でしっかりと検証する必要があると考えます。

また、管理者を常駐すること、来所時に保護者が気軽に相談・支援ができるような人の配置についても、あわせて検討していくことが必要ではないでしょうか。

## 市内の学校施設の整備についての要望を提出

8月28日、日本共産党根室市議団と市議会無所属の久保田陽議員は共同で「根室市内の学校教育環境の整備等に関する要望書」を寺脇根室市教育長に提出しました。

先日、市内の小学校を視察したときに、雨漏りや壁の亀裂など学校の老朽化が大変に進んでいる状況を目の当たりにし、対策を推進する必要性をあらためて認識しました。市教育委員会によると、市内各小学校からの修繕要望は今年度は256件に上るそうです。昨年度より減少しているものの、とても対策が追いついていないのが実情です。

今後根室市では、学校も含めて大規模な工事がいくつも控えています。しかし子ども達が、より良い環境の中で安心して学べるよう、日常的な整備にかかる予算についても、充実させていく必要があると思います。

小学校の水飲み場 壁に大きな亀裂がある



2019年9月定例会が、9月10日から開催されます。日本共産党根室市議団の一般質問の項目は次の通りです。

### 【 9月10日(火) 3番目 橋本 竜一 】

1. 市内の子どもたちのスポーツ活動について
  - (1) 市内の子どもたちの体力や運動能力について
  - (2) 学校と地域のスポーツ活動との連携について
  - (3) 「部活動指導員」等の課題について
2. 領土問題について
  - (1) 日韓領土外交について
  - (2) 北方四島との共同経済活動について
3. 観光振興について
  - (1) 観光地における公共施設や周辺環境整備について

### 【 9月10日(火) 6番目 鈴木 一彦 】

1. 防災対策について
2. 国民健康保険行政について
3. 誰もが住みなれた地域で安心してらせるまちづくりについて
  - (1) 障がい者、高齢者の居場所づくりについて
  - (2) "支えあい"のまちづくりについて